



2024年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 ウェルネオシュガー株式会社
コード番号 2117 URL <https://www.wellneo-sugar.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山本 貢司
(氏名) 大場 健司
配当支払開始予定日

TEL 03 - 3668 - 1293
2023年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	44,965	82.8	2,678	269.5	4,202	431.3	3,087	608.5	3,087	608.5	3,571	448.7
2023年3月期第2四半期	24,601	8.3	724	43.9	790	42.5	435	53.1	435	53.1	650	32.5

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	94	25		
2023年3月期第2四半期	19	72		

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	93,558		70,466		70,466	75.3
2023年3月期	93,572		68,264		68,264	73.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2023年3月期		33.00		37.00	70.00
2024年3月期		46.00			
2024年3月期(予想)				46.00	92.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

剰余金の配当(中間配当)および年間配当予想については、本日(2023年11月8日)公表しました「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」および添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明イ.剰余金の配当(中間配当)および年間配当予想について」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	90,000	54.2	5,100	217.5	6,800	276.9	5,000	370.6	5,000	370.6	152.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	35,053,483 株	2023年3月期	35,053,483 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,288,539 株	2023年3月期	2,292,530 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	32,762,085 株	2023年3月期2Q	22,097,996 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、本日(2023年11月8日)当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2023年1月1日付の日新製糖㈱と伊藤忠製糖㈱の経営統合により、商号を「ウェルネオシュガー㈱」に変更し、持株会社体制に移行しました。このため、当連結累計期間の主要な経営指標等の各計数は、前連結累計期間と比較して大幅に変動しています。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により経済活動の正常化が一段と進み、個人消費やインバウンド需要に回復が見られましたが、ウクライナ情勢の影響によるエネルギーコスト高騰や世界的な金融引き締めを背景とした円安等の影響が継続しており、先行き不透明な状況が続いています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、伊藤忠製糖㈱との経営統合、および主力の砂糖事業においてコスト上昇に対する売価への反映を進めたこと等により、売上収益は44,965百万円（前年同期比82.8%増）、営業利益は2,678百万円（同269.5%増）となりました。金融収益において、国内の投資先からの受取配当金1,304百万円を計上しました。以上の結果、税引前四半期利益は4,202百万円（同431.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,087百万円（同608.5%増）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。なお、各セグメント利益は全社費用317百万円を含んでいません。

[砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり22.35セントで始まり、主要生産国ブラジルで穀物の輸出増加による物流面での混乱懸念から上昇基調となった他、インドやタイでの干ばつによる減産懸念も広がり、4月下旬には27.41セントまで上昇しました。その後、ブラジルで生産が順調に進んだこと等から、6月下旬に今期安値となる21.81セントまで下落しましたが、インドにおける砂糖輸出禁止措置の観測が高まると9月中旬に今期高値となる27.62セントまで上昇し、26.27セントで当第2四半期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

	日付	セント/ポンド	円/kg	為替（円/ドル）
始 値	2023年4月3日	22.35	66.10	134.15
高 値	2023年9月19日	27.62	90.56	148.73
安 値	2023年6月29日	21.81	69.89	145.35
終 値	2023年9月29日	26.27	87.21	150.58

(注) 1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、上白糖1kg当たり227円～229円で始まり、海外原糖市況の高騰を受け、7月下旬に12円上昇し、239円～241円で当第2四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、外食関係やインバウンド需要に回復が見られ、記録的な猛暑により冷蔵等の出荷は好調に推移しましたが、食品価格の値上げが続いたことによる消費低迷により出荷量全体では業務用、家庭用ともに減少しました。そのような中、独自製品のきび砂糖の出荷は好調に推移しました。売上収益につきましては、経営統合により伊藤忠製糖グループが新たに加わったこと、およびコスト上昇に対する売価への反映を進めたことにより、増加しました。利益面においては、伊藤忠製糖グループの利益が加わったこと、および有利な原料調達ができたとにより、大幅な増益となりました。

ツキオカフィルム製薬㈱につきましては、純金箔事業において新規受注が増加したこと等により増収増益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は42,803百万円（前年同期比90.9%増）、セグメント利益は2,530百万円（同373.8%増）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行によりフィットネスの会員数が緩やかに回復してきていること、および効率的な運営によるコスト削減を継続していることから、売上収益は1,311百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は259百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。なお、セグメント利益にはリース負債の見直しによる再測定益221百万円が含まれています。

〔倉庫事業〕

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の取扱量が減少したことで荷役収入および保管料収入が減少しました。売上収益は849百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は206百万円（同4.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は34,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円減少しました。これは主に棚卸資産が2,026百万円、営業債権及びその他の債権が390百万円それぞれ増加した一方で、現金及び現金同等物が1,929百万円、その他の金融資産が940百万円それぞれ減少したことによるものです。非流動資産は59,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円増加しました。これは主に使用権資産が261百万円減少した一方で、持分法で会計処理されている投資が716百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は93,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は18,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,693百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が1,899百万円減少したことによるものです。非流動負債は4,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ523百万円減少しました。これは主にリース負債が586百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は23,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,216百万円減少しました。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は70,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,202百万円増加しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益3,087百万円、税引後その他の包括利益483百万円および配当金の支払による減少1,212百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は75.3%（前連結会計年度末比2.3ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ア. 2024年3月期の連結業績予想の修正について

第3四半期以降のわが国の経済は、消費の持ち直しが持続し、緩やかな景気回復が続く一方で、不安定な国際情勢や物価上昇による消費購買意欲の低下が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

砂糖その他食品事業につきましては、精製糖事業において、海外原糖市況およびエネルギーコストの高騰に加えて、資材包材コスト、物流コスト等の上昇や円安の影響を受け、業界環境は依然として厳しい状況です。当社は、生活必需品である砂糖の安定的な提供により社会的責任を果たしていくなかで、有利な条件での原料調達やコスト上昇に対する売価への反映を進め、採算を重視した経営に努めるとともに、経営統合のシナジー効果を早期に発揮することで、業績の向上を目指してまいります。

その他食品事業におきましては、2023年6月1日に設置した「ネオ機能性素材部」を中心に日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱のノウハウを結集させ、オリゴ糖製品の販売や、プレバイオティクス素材を活用した技術開発など、機能性素材を軸とした様々な領域への事業展開を推し進めております。今後も各種機能性素材による事業拡大を目指すとともに、ツキオカフィルム製薬㈱における可食フィルムの用途開発や、新たに株式取得したツルヤ化成工業㈱との連携によるマーケットイン型の営業開発機能の強化を図ってまいります。

健康産業事業におきましては、新型コロナウイルスの感染症上の分類が5類に移行したことにより、会員数は徐々に回復しております。競合サービスの台頭など多様化が進み、経営環境は引き続き厳しい状況にあるなか、新常态の店舗運営体制において安全・安心かつ需要に対する最適なサービスの提供とコスト削減に努め、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業では、冷蔵倉庫・港湾運送ともに引き続き在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

以上を踏まえて、2023年8月7日の「2024年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社は2023年5月26日開催の取締役会において、2024年10月1日（予定）に、当社を存続会社として、当社の100%子会社である日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱を吸収合併（以下「本合併」といいます。）することを基本方針に、今後必要な手続きを開始することを決議いたしました。本合併に向けた必要な手続きの進捗に応じて、公表すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

イ. 剰余金の配当（中間配当）および年間配当予想について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしています。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行い、このうち、第2四半期決算公表時における1株当たり年間配当予想額の50%（1円未満切上げ）を1株当たり中間配当額としています。

なお、年間配当予想額につきましては、前回予想と変わらず、1株当たり92円とします。

これにより、中間配当につきましては、1株当たり年間配当予想額92円の50%（1円未満切上げ）の46円を1株当たり中間配当額とします。

（当社は、毎年9月30日を基準日として、取締役会の決議によって、会社法第454条第5項に定める中間配当をすることができる旨を定款に定めています。）

[1株当たり年間配当予想額の算定式]

連結配当性向（DPR）60%基準

期末基本的1株当たり予想連結当期利益152.60円の60%=92円（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%基準

期末1株当たり予想親会社所有者帰属持分2,176.16円の3%=66円（1円未満切上げ）

連結配当性向（DPR）60%基準92円の方が大きいいため、92円を1株当たり年間配当予想額とします。

中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2023年8月7日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基 準 日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	46円00銭	同左	33円00銭
配当金総額	1,507,187,424円	—	729,417,249円
効力発生日	2023年12月1日	—	2022年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

年間配当予想（2023年8月7日公表から変更はありません。）

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
2024年3月期	46円00銭 (当期実績)	46円00銭 (予想)	92円00銭 (予想)
前期実績 (2023年3月期)	33円00銭	37円00銭 (普通配当30円) (記念配当7円)	70円00銭

※配当予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,263	9,334
営業債権及びその他の債権	7,446	7,836
その他の金融資産	1,025	84
棚卸資産	14,614	16,641
その他の流動資産	633	652
流動資産合計	34,983	34,549
非流動資産		
有形固定資産	18,403	18,207
使用権資産	2,785	2,523
のれん	14,280	14,280
無形資産	411	435
持分法で会計処理されている投資	14,112	14,829
その他の金融資産	6,627	6,805
退職給付に係る資産	366	344
繰延税金資産	144	133
営業債権及びその他の債権	10	12
その他の非流動資産	1,446	1,436
非流動資産合計	58,588	59,008
資産合計	93,572	93,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	9,000	9,000
営業債務及びその他の債務	6,789	4,889
リース負債	890	861
その他の金融負債	516	78
未払法人所得税等	406	889
引当金	20	—
その他の流動負債	2,404	2,617
流動負債合計	20,028	18,335
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	—
リース負債	2,718	2,131
その他の金融負債	101	98
退職給付に係る負債	327	239
引当金	507	548
繰延税金負債	1,565	1,679
その他の非流動負債	58	58
非流動負債合計	5,279	4,756
負債合計	25,308	23,091
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	34,687	34,686
自己株式	△3,534	△3,528
その他の資本の構成要素	1,546	1,858
利益剰余金	28,563	30,449
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,264	70,466
資本合計	68,264	70,466
負債及び資本合計	93,572	93,558

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	24,601	44,965
売上原価	20,535	37,438
売上総利益	4,065	7,526
販売費及び一般管理費	3,346	5,093
その他の収益	17	276
その他の費用	11	31
営業利益	724	2,678
金融収益	64	1,367
金融費用	36	46
持分法による投資利益	38	202
税引前四半期利益	790	4,202
法人所得税費用	355	1,114
四半期利益	435	3,087
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	435	3,087
非支配持分	—	—
四半期利益	435	3,087
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	19.72	94.25

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	435	3,087
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	32	141
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	0	3
純損益に振り替えられることのない 項目合計	32	144
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	182	338
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	182	338
税引後その他の包括利益	215	483
四半期包括利益	650	3,571
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	650	3,571
非支配持分	—	—
四半期包括利益	650	3,571

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日時点の残高	7,000	11,614	△292	35	1,453
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	182	32
四半期包括利益合計	—	—	—	182	32
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	3	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△49
非金融資産への振替	—	—	—	△182	—
所有者との取引額合計	—	3	3	△182	△49
2022年9月30日時点の残高	7,000	11,617	△288	34	1,436

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日時点の残高	—	1,488	29,093	48,904	48,904
四半期利益	—	—	435	435	435
その他の包括利益	—	215	—	215	215
四半期包括利益合計	—	215	435	650	650
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△751	△751	△751
株式報酬取引	—	—	—	7	7
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△49	49	—	—
非金融資産への振替	—	△182	—	△182	△182
所有者との取引額合計	—	△232	△701	△926	△926
2022年9月30日時点の残高	—	1,471	28,827	48,628	48,628

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日時点の残高	7,000	34,687	△3,534	△12	1,559
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	338	144
四半期包括利益合計	—	—	—	338	144
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△1	6	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△9
非金融資産への振替	—	—	—	△161	—
所有者との取引額合計	—	△1	6	△161	△9
2023年9月30日時点の残高	7,000	34,686	△3,528	164	1,694

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2023年4月1日時点の残高	—	1,546	28,563	68,264	68,264
四半期利益	—	—	3,087	3,087	3,087
その他の包括利益	—	483	—	483	483
四半期包括利益合計	—	483	3,087	3,571	3,571
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△1,212	△1,212	△1,212
株式報酬取引	—	—	—	5	5
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△9	9	—	—
非金融資産への振替	—	△161	—	△161	△161
所有者との取引額合計	—	△171	△1,202	△1,369	△1,369
2023年9月30日時点の残高	—	1,858	30,449	70,466	70,466

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しています。

I F R S		新設・改訂の概要
I A S 第12号	法人所得税	リースおよび廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。